

# 光が丘四季の香小学校研究だよりNo.2



平成26年6月27日(金)

光が丘四季の香小学校

校長 富澤 素子

校内研究推進部

家

紫陽花の花が色鮮やかになってきた今日この頃です。保護者、地域の皆様には、日頃から本校の教育活動にご協力、ご支援いただき誠にありがとうございます。

さて、前号でもお伝えしましたが、光が丘四季の香小学校では、昨年度から理科・生活科の研究を重点的に行っています。研究テーマは、「自ら考え 表現する力の育成 ～学び合い 高め合う 問題解決の活動を通して～」です。5月の運動会前、2回目の理科の研究授業を行いました。今回は、4年生の授業でした。5月20日(火)の5時間目に実施した4年2組「電池のはたらき」(指導者：久保大介教諭)の授業、協議会の様子をご紹介します。今回の授業では、単元(学習)の最初の時間を研究授業として提案しました。講師は、元玉川大学教育センター教授畑中喜秋先生でした。

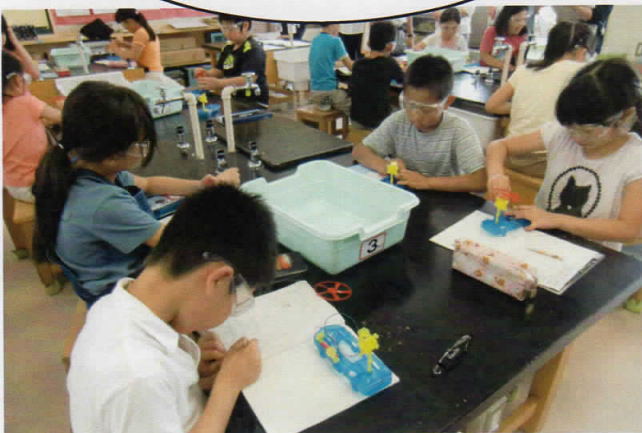
この授業で、児童に身に付けさせたい学習内容(この授業のねらい)

- ・プロペラが飛ぶことは、乾電池の向きに関係することに気づかせる。
- ・モーターの回り方に興味・関心をもち、その変化を調べようとする態度を育てる。

<問題>

プロペラが飛ぶか飛ばないかの原因は何だろう？

まず始めに、電池とモーターをつなぎ、回路にしてから、プロペラを回し、飛ぶところを見せました。児童は興味津々です。早速自分たちで試してみます。



「班で学び合いタイム」(自分の考えを班の友達に伝え、考えの共通点や差異点を見付け、話し合っ班の考えをまとめる時間)では、班のメンバーがお互いに自分が実験して気づいたこと、わかったことを、実物の実験道具を使い、話し合いました。